

標題	2019年度第11回治験審査委員会公開用議事録
日 時	2020年2月4日(火) 16:00～16:20
場 所	南棟2階 会議室
出席者	岡田、西川、棄井、新谷、木島、近藤、羽田、長谷川、開、高橋、山本 S M O：泉
議事内容	<p>議題① ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による未治療の多発性骨髄腫患者を対象としたBMS-901608の国内第2相臨床試験</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該治験薬で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 &lt;審議結果：上記案件承認&gt;</li></ul> <p>議題② 武田薬品工業株式会社の依頼による幹細胞移植歴のない初発の多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomibの第3相試験</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 &lt;審議結果：上記案件承認&gt;</li></ul> <p>議題③ バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第III相試験(VOYAGER PAD)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 &lt;審議結果：上記案件承認&gt;</li></ul> <p>議題④ ニプロ株式会社の依頼による虚血性心疾患患者を対象としたNP023の多施設共同比較試験(NP023-P01)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該施設で発生した重篤な有害事象及び不具合について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 &lt;審議結果：上記案件承認&gt;</li></ul> <p>議題⑤ ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の依頼による浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療におけるBSJ011Rと標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該施設で発生した重篤な有害事象及び不具合について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li><li>治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 &lt;審議結果：上記案件承認&gt;</li></ul> <p>議題⑥ 協和キリン株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病患者を対象としたRTA 402(Bardoxolone methyl)の第III相試験</p> <ul style="list-style-type: none"><li>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について</li></ul>

審議した。

<審議結果：上記案件承認>

議題⑦ ニプロ株式会社の依頼による末梢動脈疾患患者を対象とした NP028 の多施設共同試験

- 当該施設で発生した重篤な有害事象及び不具合について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果：上記案件承認>

議題⑧ 日本メドトロニック株式会社の依頼による SPYRAL HTN-ON MED 臨床試験

- 当該治験における被験者募集の手順（広告等）に関する資料の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果：上記案件承認>

議題⑨ 日本イーライリリー株式会社の依頼による片頭痛患者を対象とした LY573144 の第Ⅱ相試験

- 当該治験における説明文書・同意文書、治験薬概要書（英語版）、治験薬概要書（日本語版）の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果：上記案件承認>

議題⑩ ニプロ株式会社の依頼による虚血性心疾患患者を対象とした NP024 の多施設共同外部対照試験

- 当該治験における説明文書・同意文書、治験参加カードの見本の変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果：上記案件承認>

#### 【その他報告事項】

課題⑪ バイエル薬品株式会社の依頼による下肢血行再建術施行後の症候性末梢動脈疾患患者を対象とした重大な血栓性血管イベントの発現リスクの低減におけるリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討する国際共同、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照第Ⅲ相試験（VOYAGER PAD）

- 当該治験の終了について報告した。

議題⑫ 2019 年度第 10 回 IRB の議事録内容を確認し、了承した。

以上